

# 島根県の経済動向

平成30年11月分

統 第 6 9 号 の 1 1  
平成 3 1 年 2 月 1 日

政策企画局統計調査課

## 一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、 持ち直しの動きが続いている一

生産活動は総じて持ち直している。雇用情勢は改善の動きが続いている。個人消費は緩やかに持ち直している。投資動向は持ち直しの兆しがみられる。

生産活動	⇒ ~総じて持ち直し~	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は124.8で前月比で1.0%上昇し、前年比3.1%と2か月連続で上回った。 生産活動は、総じて持ち直している。
雇用情勢	⇒ ~改善の動き~	雇用面は、有効求人倍率は1.78倍で前月を0.01ポイント上回った。新規求人数は4.4%と9か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は3.6%と3か月ぶりに前年を上回り、きまって支給する給与は▲0.2%と17か月連続で前年を下回った。 雇用面は改善の動きが続いているが、所得面は弱い動きがみられる。
個人消費	⇒ ~緩やかに持ち直し~	百貨店・スーパー販売額は▲1.6%と2か月連続で、ホームセンター販売額は▲2.1%と2か月ぶりにそれぞれ前年を下回った。家電大型専門店販売額は0.7%と3か月連続で前年を上回った。新車登録台数は15.4%と2か月連続で前年を上回った。 個人消費は、緩やかに持ち直している。
投資動向	⇒ ~持ち直しの兆し~	建築着工床面積（非居住用）は70.0%と2か月連続で、公共工事請負金額は10.0%と2か月連続でそれぞれ前年を上回った。新設住宅着工戸数は▲6.3%と4か月連続で前年を下回った。 投資動向は、持ち直しの兆しがみられる。
企業倒産	⇒ ~倒産件数1件~	企業倒産件数は1件。（小売業1件）
金融情勢	⇒ ~貸出金残高は 対前年2.9%増~	銀行預金残高は24か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は99か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒ ~対前年0.9%上昇~	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は101.0となり、前年比0.9%の上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成31年2月1日公表）	CI先行指数は105.9となり、2か月ぶりの下降となった。 CI一致指数は148.6となり、2か月連続の上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成30年12月11日公表）	財務省松江財務事務所が公表した現状（30年10～12月期）の景況判断BSIは、20.0%ポイントと「上昇」超に転じる。 30年度の設備投資計画は、前年度比15.8%の増加見通しとなっている。 （製造業 16.6%、非製造業 12.0%）

経 済 指 標		前年同月比（%） ただし*は除く。					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	122.8	120.2	127.3	116.4	123.6	124.8
	* "（前月比）	▲ 4.4	▲ 2.1	5.9	▲ 8.6	6.2	1.0
	* "（前年同月比）	2.8	4.4	4.3	▲ 1.7	4.6	3.1
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.73	1.72	1.73	1.73	1.77	1.78
	新規求人数	0.1	1.0	3.4	0.3	8.9	4.4
	常用労働者数	1.3	1.6	2.2	2.0	2.5	2.8
	現金給与総額	▲ 9.6	7.3	1.3	▲ 2.8	▲ 0.3	3.6
	きまって支給する給与	▲ 3.1	▲ 1.0	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.2
	所定外労働時間（製造業）	14.4	0.7	0.7	10.1	3.9	▲ 1.9
個人消費	百貨店・スーパー販売額	2.1	2.1	▲ 0.1	4.1	▲ 1.7	▲ 1.6
	ホームセンター販売額	▲ 0.7	2.0	▲ 4.1	▲ 1.4	2.2	▲ 2.1
	家電大型専門店販売額	8.0	▲ 1.8	▲ 4.8	2.8	0.6	0.7
	乗用車新車登録台数	▲ 1.5	4.4	0.4	▲ 3.6	13.6	15.4
	出雲空港利用者数	8.2	14.0	15.1	8.7	6.7	0.9
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	101.1	26.1	182.3	▲ 14.4	295.6	70.0
	公共工事請負金額	▲ 19.1	32.5	▲ 2.5	▲ 7.1	51.5	10.0
	新設住宅着工戸数	46.9	15.6	▲ 14.7	▲ 7.6	▲ 27.9	▲ 6.3
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	3	1	4	0	4	1
	* 負債総額（百万円）	153	45	2,255	0	409	31
金融情勢	銀行預金残高	2.2	1.2	1.3	1.6	1.2	1.4
	銀行貸出金残高	4.6	4.4	4.4	4.4	2.9	2.9
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.5	100.5	101.0	101.1	101.3	101.0
そ の 他	* 景気動向指数（CI先行指数）	114.7	109.2	108.2	108.1	109.3	105.9
	* 景気動向指数（CI一致指数）	148.5	143.8	152.8	134.0	146.3	148.6

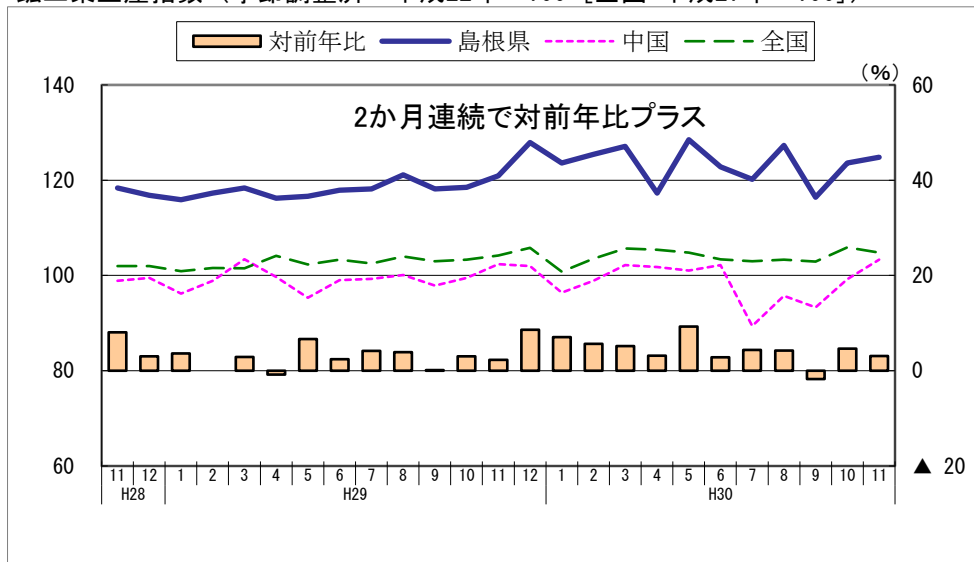
# 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成31年1月29日																							
	<p>景気は、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費は、持ち直している。</li> <li>・ 設備投資は、増加している。</li> <li>・ 輸出は、このところ弱含んでいる。</li> <li>・ 生産は、緩やかに増加している。</li> <li>・ 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・ 雇用情勢は、着実に改善している。</li> <li>・ 消費者物価は、このところ横ばいとなっている。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>																							
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成31年1月16日																							
	<p>～ 持ち直している ～</p> <p>中国地域の経済は、生産は緩やかな持ち直しの動き、個人消費は持ち直しの動き、有効求人倍率は引き続き高水準であるなど、持ち直している。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向</td> <td>…緩やかな持ち直しの動き</td> <td>7. 企業倒産</td> <td>…件数、負債総額ともに減少</td> </tr> <tr> <td>2. 個人消費</td> <td>…持ち直しの動き</td> <td>8. 設備投資</td> <td>…前年度を上回る見込み</td> </tr> <tr> <td>3. 雇 用</td> <td>…有効求人倍率は上昇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 景 況 感</td> <td>…現状は低下、先行きは上昇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 貿 易</td> <td>…輸出、輸入ともに増加</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 建設動向</td> <td>…公共工事、住宅建設ともに増加</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. 生産動向	…緩やかな持ち直しの動き	7. 企業倒産	…件数、負債総額ともに減少	2. 個人消費	…持ち直しの動き	8. 設備投資	…前年度を上回る見込み	3. 雇 用	…有効求人倍率は上昇			4. 景 況 感	…現状は低下、先行きは上昇			5. 貿 易	…輸出、輸入ともに増加			6. 建設動向	…公共工事、住宅建設ともに増加	
1. 生産動向	…緩やかな持ち直しの動き	7. 企業倒産	…件数、負債総額ともに減少																					
2. 個人消費	…持ち直しの動き	8. 設備投資	…前年度を上回る見込み																					
3. 雇 用	…有効求人倍率は上昇																							
4. 景 況 感	…現状は低下、先行きは上昇																							
5. 貿 易	…輸出、輸入ともに増加																							
6. 建設動向	…公共工事、住宅建設ともに増加																							
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2019年1月8日																							
	<p>山陰の景気は、緩やかな回復を続けている。最終需要をみると、個人消費は、基調として底堅い動きが続いている。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、受注や収益の好調を背景に水準を切り上げている。公共投資は、弱含んで推移している。製造業の生産は、振れはあるものの、高操業が続いている。この間、雇用・所得環境は、振れはあるものの、着実な改善傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費は、基調として底堅い動きが続いている。</li> <li>・ 住宅投資は、横ばい圏内で推移している。</li> <li>・ 設備投資は、受注や収益の好調を背景に水準を切り上げている。</li> <li>・ 公共投資は、弱含んで推移している。</li> <li>・ 生産は、振れはあるものの、高操業が続いている。</li> <li>・ 雇用・所得環境は、振れはあるものの、着実な改善傾向にある。</li> </ul>																							
山 陰 地 方	「山陰経済動向（株式会社山陰合同銀行）」 2019年1月31日																							
	<p>生産活動に増勢鈍化の兆しがみられるものの、個人消費に持ち直しの動きがうかがわれ、設備投資が増加し、雇用情勢も引き続き改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、総じて弱い動きとなっている。</li> <li>・ 設備投資は、2018年度は、製造業、非製造業とも前年度を上回る計画となっており、全産業で前年度を上回る計画（日銀短観12月の全産業設備投資額は、2017年度実績対前年度比3.9%減、2018年度計画同32.6%増）。</li> <li>・ 住宅建設は、持ち直しの動きが弱まっている。</li> <li>・ 個人消費は、総じて持ち直しの動きがうかがわれる。</li> <li>・ 生産は、一部で高水準の操業が続く業種がみられるものの、海外景気の減速懸念などを背景に増勢鈍化の兆しがみられる。</li> <li>・ 雇用情勢は、引き続き改善している。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに改善し、全産業で改善となった（前回 2→今回 10）。先行きについては、製造業、非製造業ともに悪化を見込んでおり、全産業でも悪化の見通しとなっている（日銀短観12月調査）。</li> </ul>																							
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成31年1月30日（四半期ごとに公表）																							
	<p>県内経済は、持ち直している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 緩やかに持ち直している</li> <li>・ 生産活動 総じてみれば回復しつつある</li> <li>・ 雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている</li> <li>・ 公共事業 前年度を上回る</li> <li>・ 設備投資 平成30年度は前年度を上回る見込み</li> <li>・ 企業収益 平成30年度は増益見込み</li> </ul>																							

# 経済指標の推移

## 【 生産活動 】 ～総じて持ち直し～

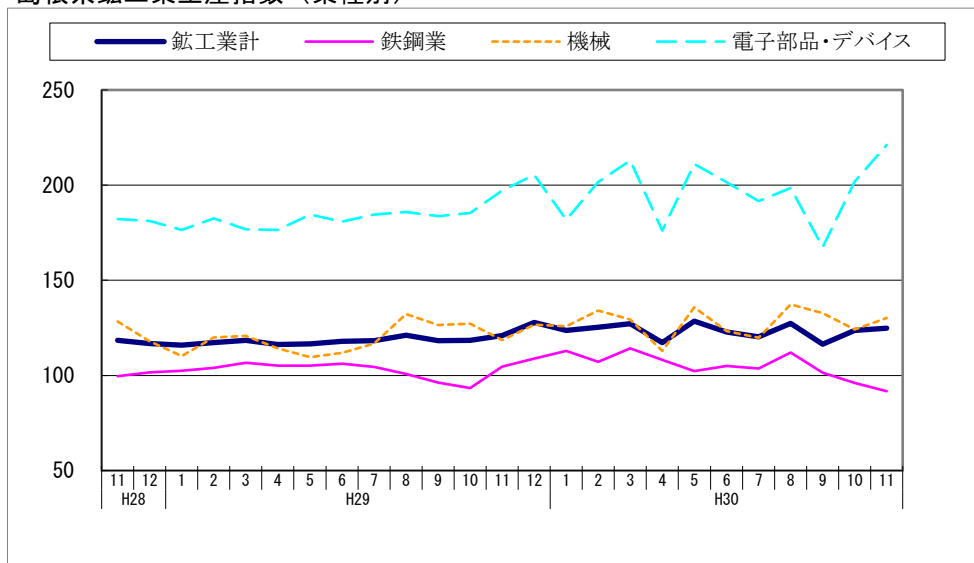
鉱工業生産指数（季節調整済 平成22年=100 [全国 平成27年=100]）



（注）対前年比は、島根県の原指数

（県統計調査課、経済産業省）

島根県鉱工業生産指数（業種別）

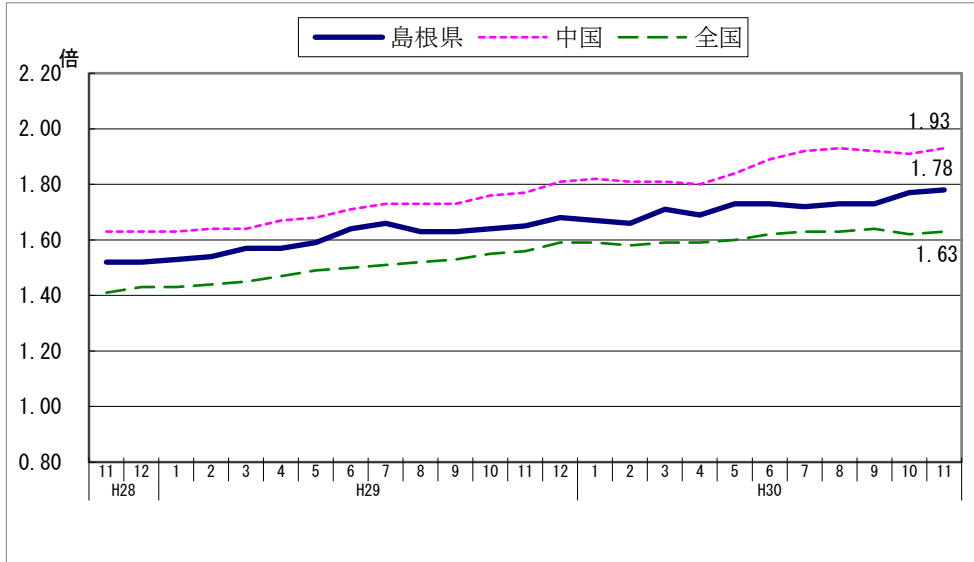


（注）機械とは、はん用・生産用・業務用機械工業である

（県統計調査課）

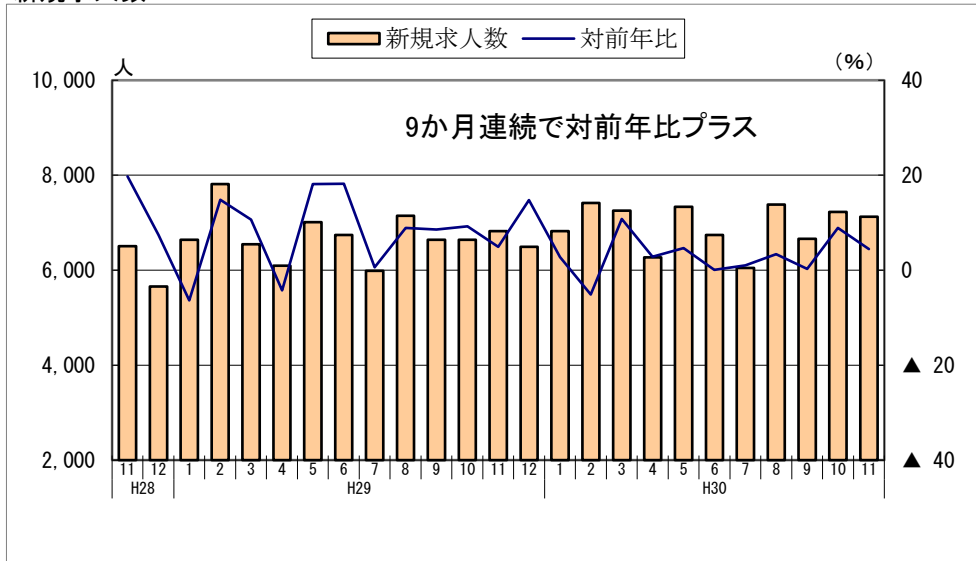
【雇用情勢】 ～改善の動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



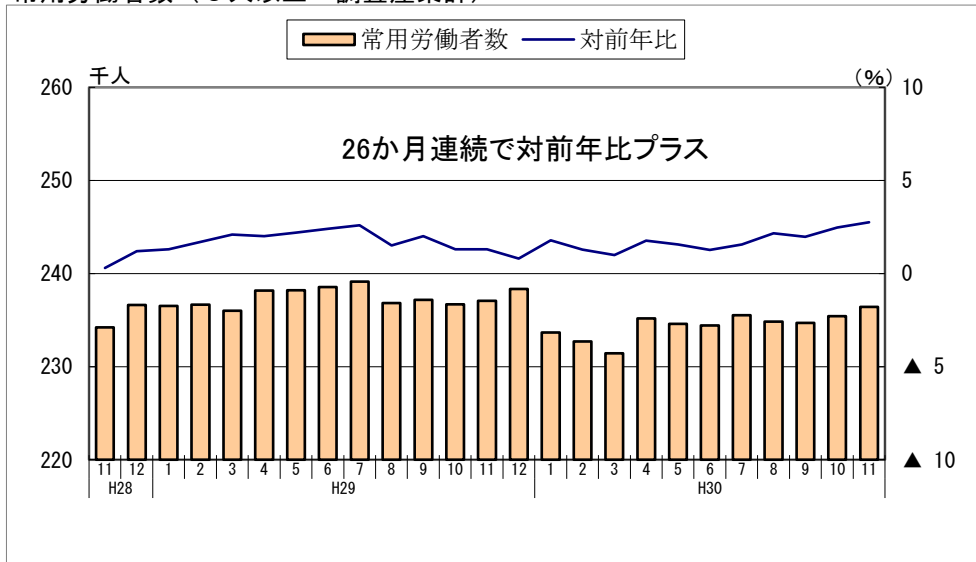
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

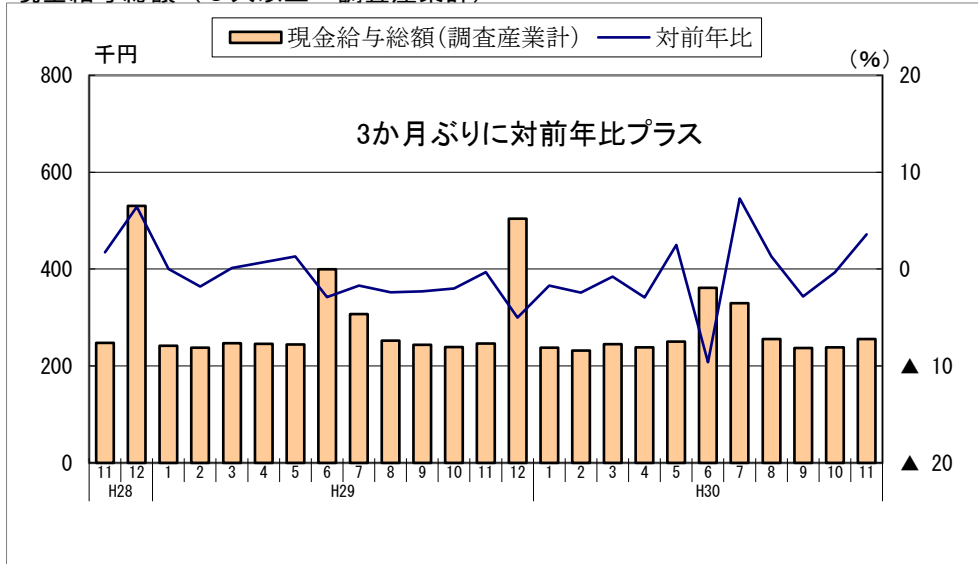
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

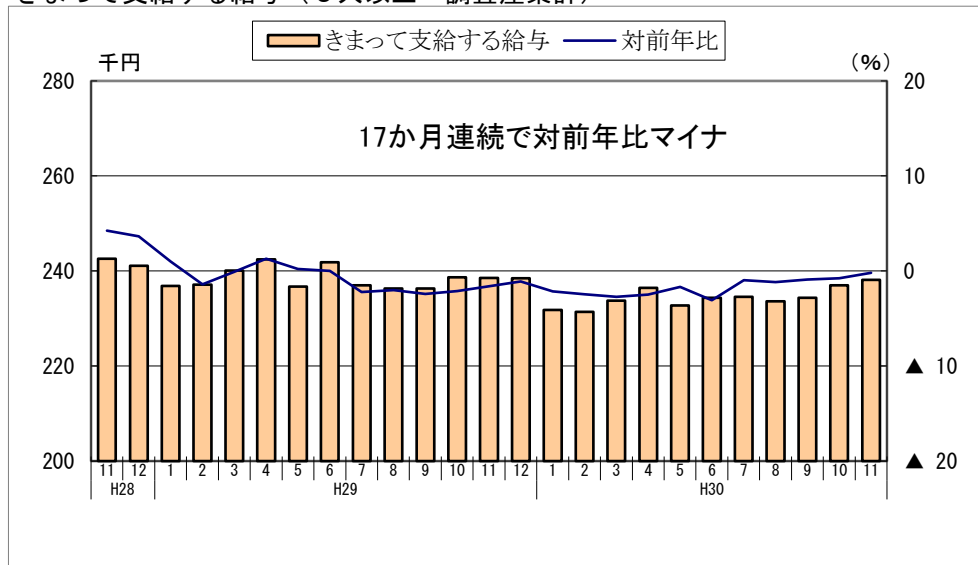
【雇用情勢】 ～改善の動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



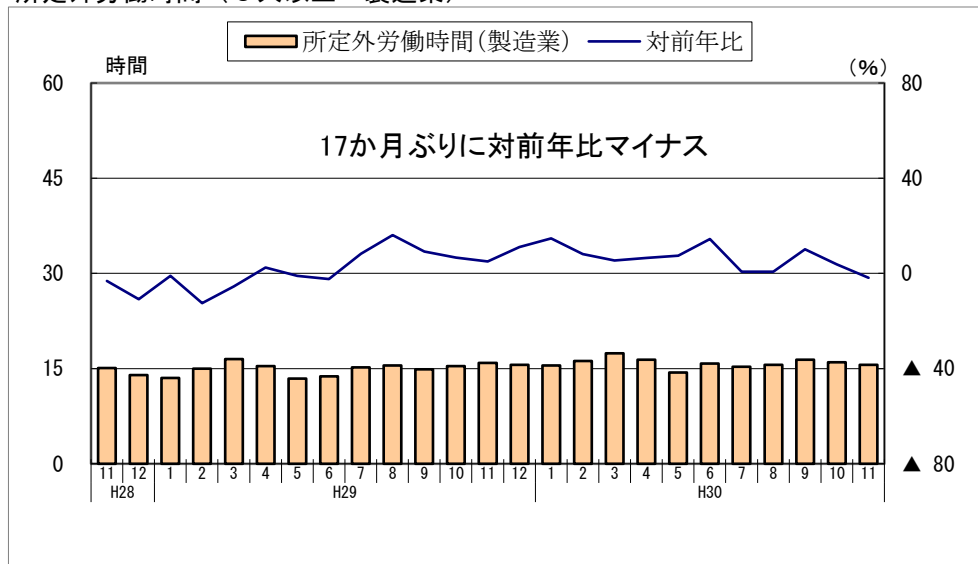
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

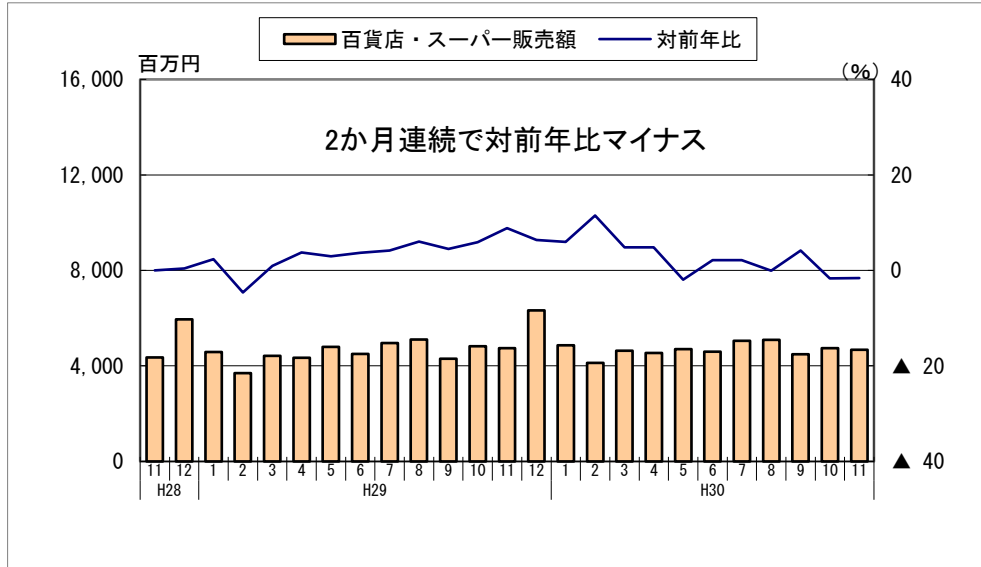
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

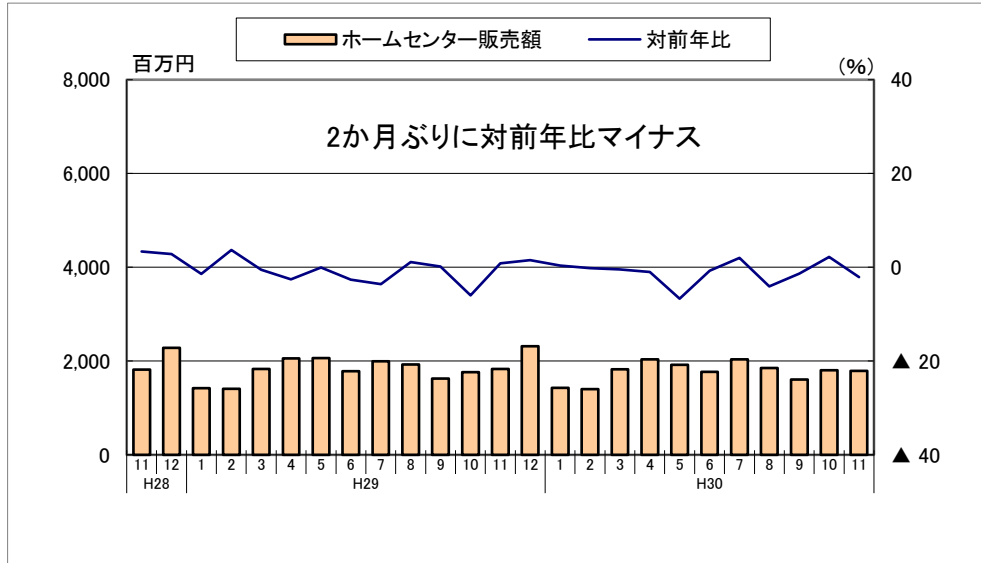
【 個人消費 】 ～緩やかに持ち直し～

百貨店・スーパー販売額



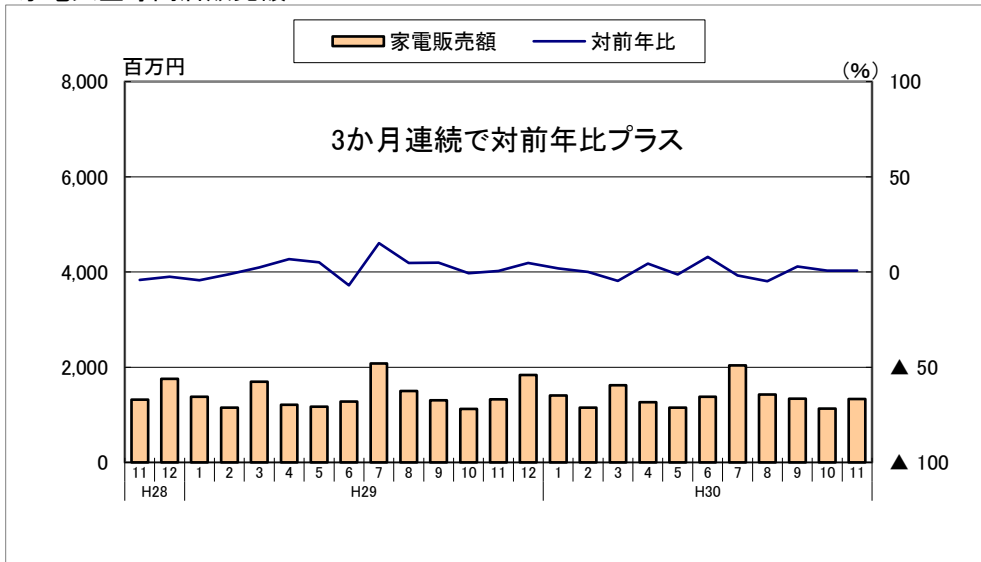
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

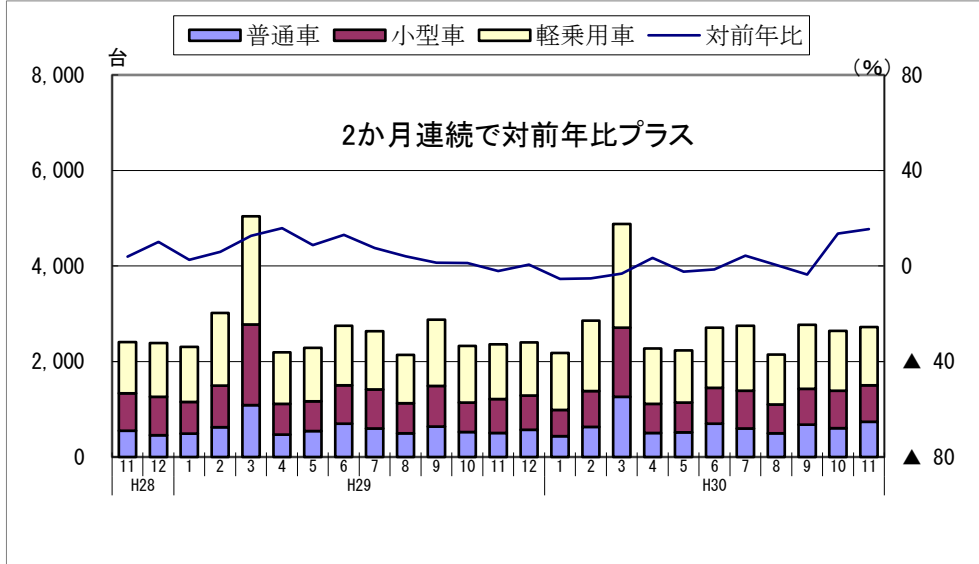
家電大型専門店販売額



(中国経済産業局)

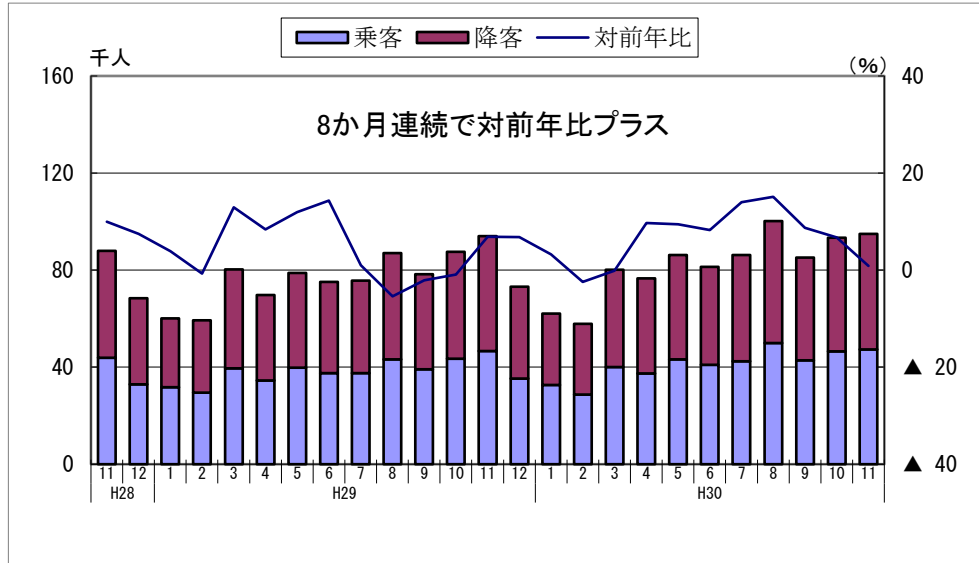
【 個人消費 】 ～緩やかに持ち直し～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

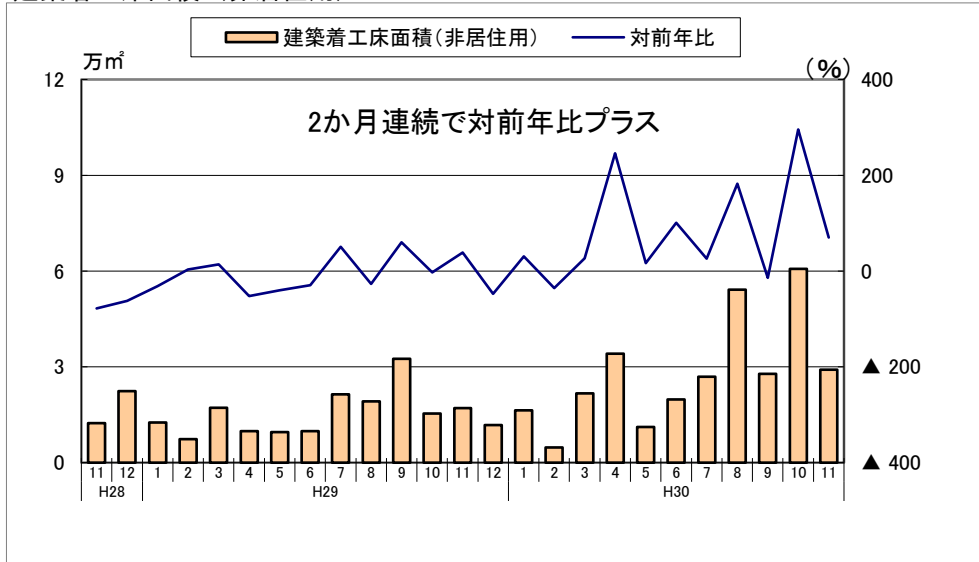
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

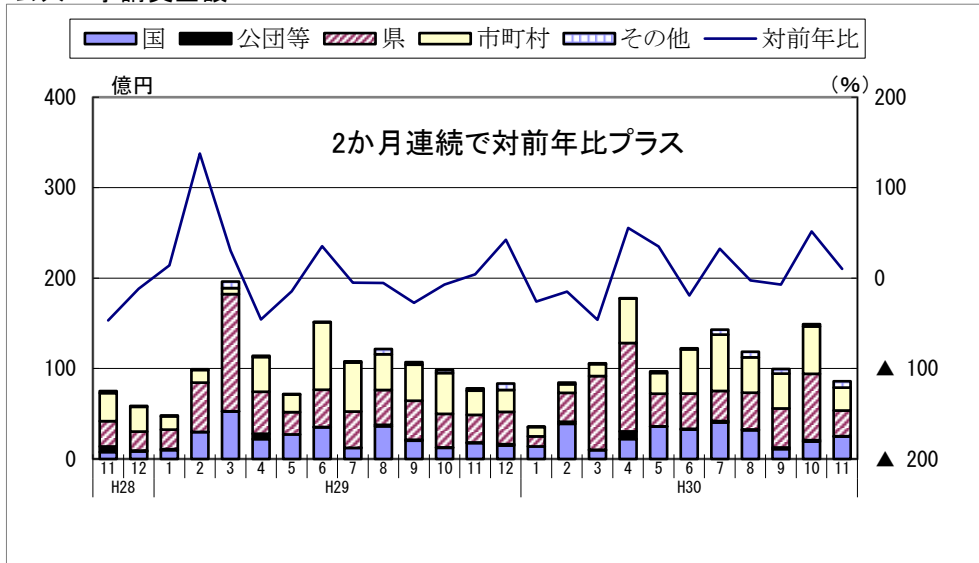
【 投資動向 】 ～持ち直しの兆し～

建築着工床面積（非居住用）



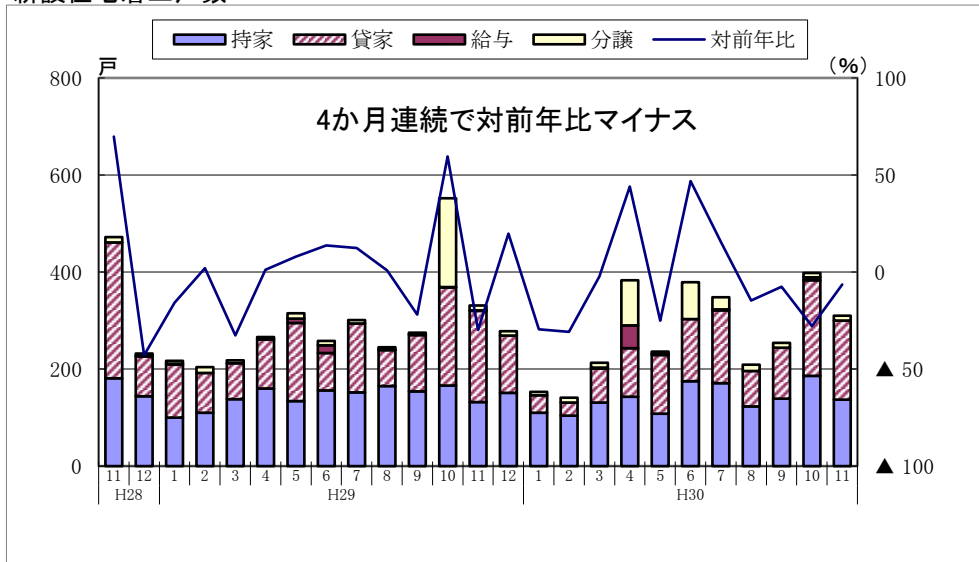
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

新設住宅着工戸数

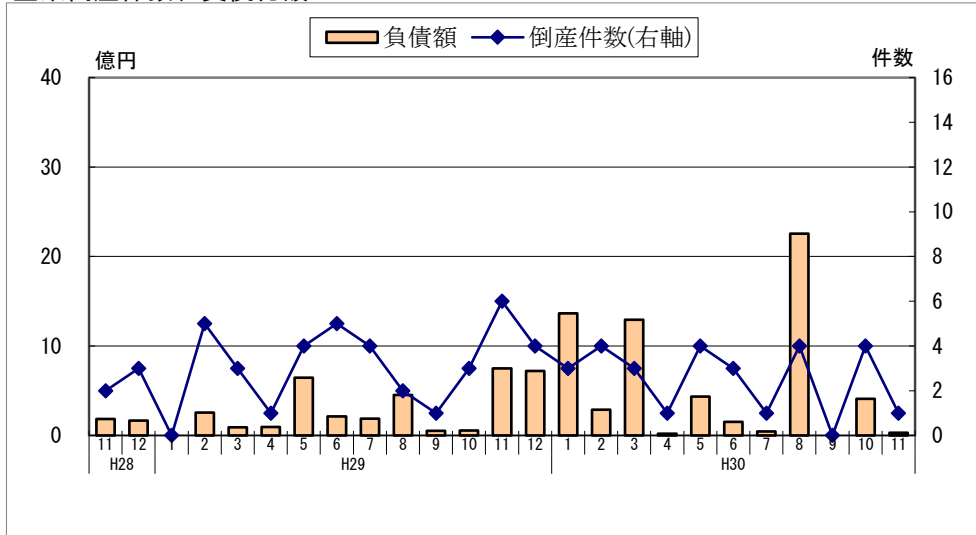


(国土交通省)



【 企業倒産 】 ～倒産件数 1 件～

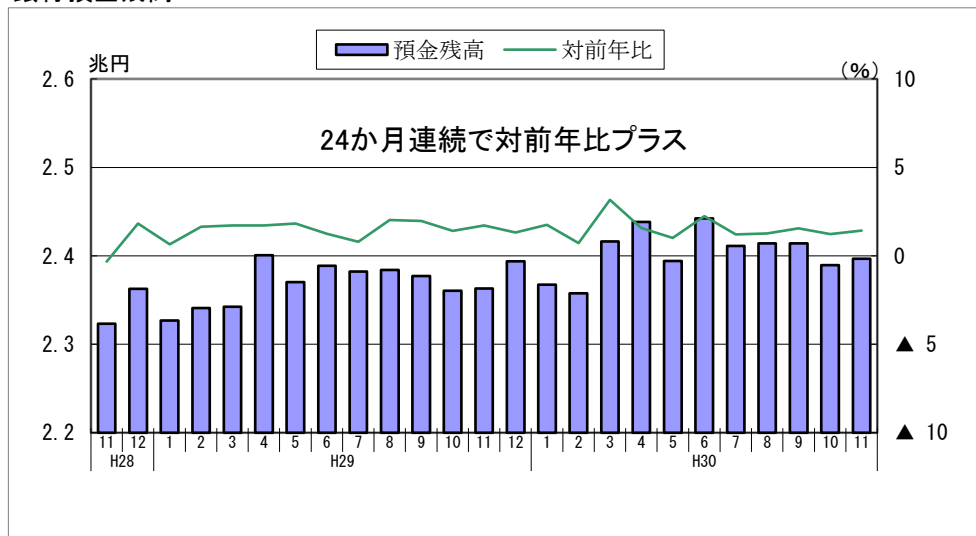
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

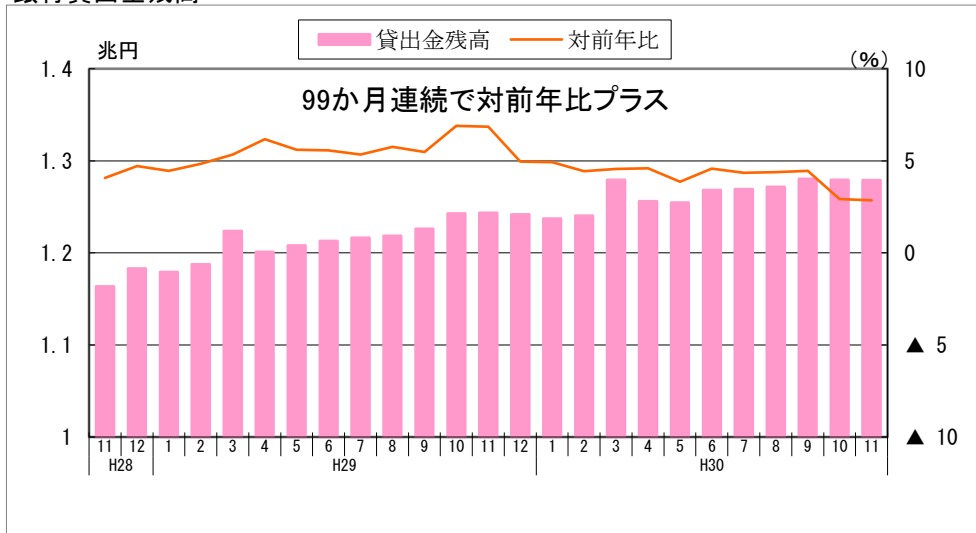
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年2.9%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

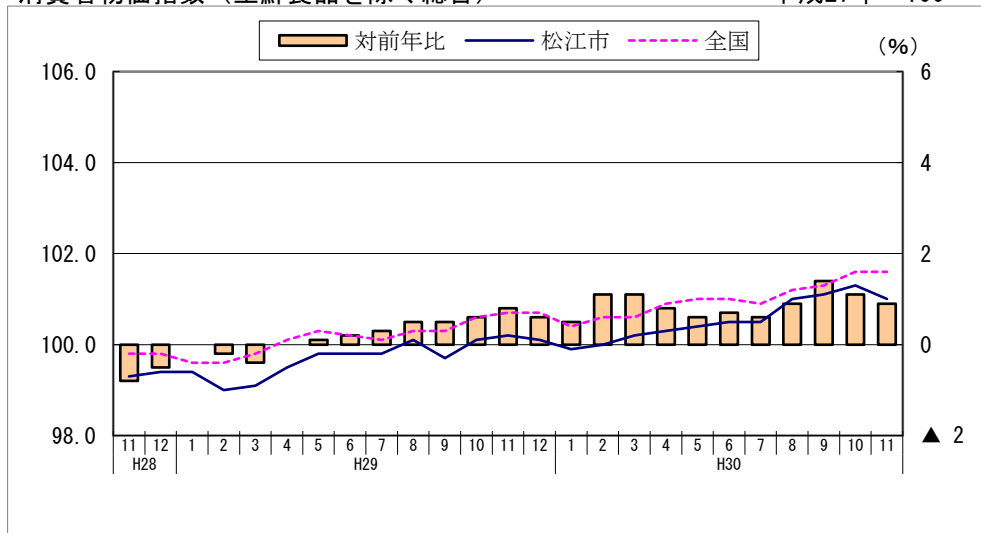
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.9%上昇～

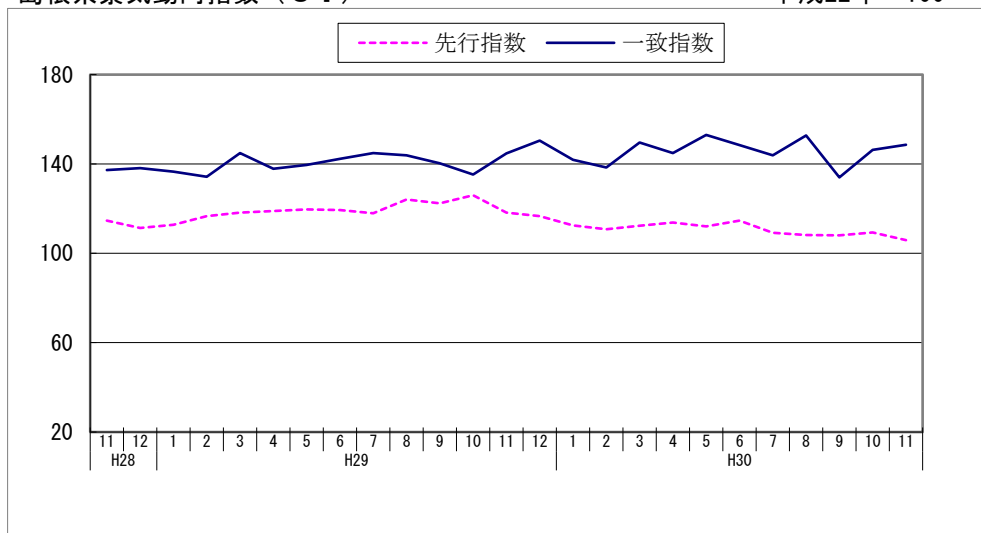
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） 平成27年＝100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I) 平成22年＝100



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成30年12月11日 財務省松江財務事務所)  
平成30年10～12月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	30年7～9月 前回調査	30年10～12月 今回調査	31年1～3月 見 通 し	31年4～6月 見 通 し
全 産 業	▲ 5.6	( 8.4) 20.0	( 2.8) ▲ 11.4	▲ 6.7
製 造 業	▲ 2.5	( 10.0) 12.8	( 0.0) ▲ 2.6	0.0
非製造業	▲ 7.5	( 7.5) 24.2	( 4.5) ▲ 16.7	▲ 10.6
大 企 業	0.0	( 0.0) ▲ 22.2	( 11.1) ▲ 11.1	11.1
中堅企業	▲ 5.1	( 5.1) 23.7	( ▲10.3) ▲ 21.1	▲ 5.3
中小企業	▲ 6.8	( 11.9) 24.1	( 10.2) ▲ 5.2	▲ 10.3

※ ( ) 書きは、前回 (30年7～9月期) 調査時の見通し